授業開発部・ＳＳＨ部

**授業改善のための工夫の見せどころシート**

本時の見せどころは・・・

教科　　　　氏名

授業実施日：平成　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| **視点** | **記述欄**この吹き出しは消さないでください。５の☆と対応して強調した記述をしてください。 |
| **科目・研修名** | 〇〇〇〇 |
| **出入口** | **1** | **生徒・受講者** | ①所属　〇〇科〇年〇組②人数　〇〇人（男子〇人、女子〇人）③特徴・ニーズ　　〇〇〇・・・・・ |
| **2** | **授業・研修の位置づけ** | 以前学んでいたことで、知らないと困ることは何ですか　〇〇〇・・・・次にどこで使いますか　〇〇〇・・・・・ |
| **方法・内容** | **3** | **本時の内容と****具体的方法****（C/Eの問い、****指導方法、展開）** | ①題材　　〇〇〇・・・・・②C/Eの問い　「〇〇〇・・・・・？」③方法　□講義　□演習　□グループワーク　□実演　□実習④ＩＣＴ　□実物投影機　□タブレット　□　　　　　　　　　〇〇〇・・・・・、〇〇〇・・・・・　　小単元の時間数に合わせて表現してください。また、この授業を（本時）として表示してください。複数時間配当の場合、1/2（２時間配当の内の１時間目）のように表現してください。⑤単元計画　（１）・・・・・　（２）・・・・・　（３）・・・・・（本時）　（４）・・・・・　　　　 |
| **出口・評価** | **４** | **教員の****評価の方法** | ①方法□小テスト、□定期考査、□レポート、□シート提出、□実技テスト　（〇〇〇・・・・＜具体的な特徴があれば記述する＞）重きを置いているところの☆を★としてください。（イメージは「見方・考え方」）ひらがなで「ほし」と入力すると出てきます。右上の吹き出しに、その理由を記述してください。②ＩＣＥに当てはめると？□ideas（知識、技能の習得）：　〇〇〇・・・・・□connections（既知の知識・概念や他領域とのリンク）：　〇〇〇・・・・・□extensions（応用、活用）：　〇〇〇・・・・・ |
| **５** | **科目や学校全体の教育目標との一致** | 　　　　　みつめる力　　　　きわめる力　　　　つなげる力☆☆☆　　　☆☆☆　　　☆☆☆ |
| **生徒の自己評価** | **６** | **生徒のリフレクション** | 　〇〇〇・・・・・「生徒の振り返り」ですので、「～できたか？」の表現にし、その項目を生徒に評価させてください。 |
| **７** | **ＩＣＥモデルに当てはめると** | □ideas（知識、技能の習得）：　○○〇・・・・・できたか？□connections（既知の知識・概念や他領域とのリンク）：　〇〇〇・・・・・できたか？□extensions（応用、活用）：　〇〇〇・・・・・できたか？「ID:インストラクショナル・デザイン入門」というプリントや紹介本「～道具箱１０１」などを御覧ください。「メリルの第一原理」や「ガニェの９教授事象」、「ARCSモデル」から適用してみてはいかがでしょうか？ |
| **継続** | **８** | **教員のリフレクション** | 〇〇〇・・・・・ |
| **９** | **IDモデルに当てはめると？** | 〇〇〇・・・・・ |

**※日本教育工学会FDセミナー「大学授業設計の点検ワークシート」（2015）に、IDモデル用いた分析及び改善案の検討を追加されたものをもとに、熊本県立第二高等学校版として作成。**